

## 活動報告

団体名	つなぎ t e おおむた
活動名	浸水被害家屋の乾燥作業等サポート活動
活動期間	2020/08/01～2020/08/31
活動の成果	<p>大牟田市内の支援拠点となる災害 VC（大牟田市社会福祉協議会）の正規スタッフはじめ市民有志で立ち上げられたボランティア団体のスタッフへ、つなぎ t e おおむたが専門知識の豊富な講師をつないだ。土嚢袋を自立させるためのガイドボードの作り方や水分計の使用法はじめ、初歩の初歩から丁寧に教示いただいたおかげで市民からの質問にも対応できるようになり、そこから市民対象の災害 VC 主催・床下講習会開催に結びついた。ボランティア募集範囲が 4 市 2 町に限定されており浸水 2,800 件にボランティアのみで対応するのは難しい状況だったがサーキュレーターとダクトを用いての作業のおかげで 1 か月以上かかる乾燥作業が 1 週間から 2 週間で済み多くの市民に喜んでいただいた。当法人のスタッフが災害 VC 職員を兼ねており、また被災直後の混乱期でもあるので活動の区分があいまいになることを懸念し今回は有償スタッフとしての位置づけにできなかったが、先の長い支援活動を継続していくのでこれからの活動については業務とボランティア活動の線引きを一考するのも必要かと考えている。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>大牟田市では 24 時間降雨量が 446.5mm と観測史上最大を記録しました。これまで大きな自然災害を経験していない地域ですので、市民には浸水後の対応についての知識も必要な資機材の備えもほとんどありませんでした。何日も水が引かなかったため床や柱へのダメージが大きく、半壊世帯は 1,200 件超、その想定外の被害を前にして私どもは呆然としました。これまでに全国の水害被災地へボランティア活動で入った経験のある方を含むごく一部の方たちを除いては、屋内片付けが済み次第「床下の清掃・乾燥・消毒作業が大切」との知識もその活動を行うための資機材も乏しかったのです。また新型コロナウイルス感染拡大防止のためにボランティアの募集範囲を限定したため、スタッフ・ボランティア一人一人が市民への説明や作業の力量を高め作業効果の上がる資機材を準備して使いこなしていくしか方法はありません。そこでスタッフへの学習、資機材の調達のため皆様からのご寄付を活用させていただき、『専門知識を持った講師の招聘』『短時間で乾燥作業が完了する資材：サーキュレーター用ダクトの購入』『乾燥の効果を目視できる水分計の購入』を行いました。まだまだ復旧の日々は続きますが私どもにお心お寄せ下さった皆さまへ元気な報告ができるまで心と力を寄せ合って前へ進んでまいります。この度のご支援、本当にありがとうございました</p>

(活動のようす)

